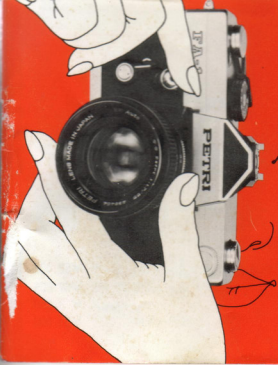
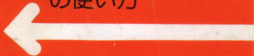


# PETRI



**ペトリFA-1**  
の使い方



シャープなレンズと無類の機動性  
本格の〈TTL + EE〉

標準価格 : F1.7レンズ付 カメラ ¥52,400

F1.4レンズ付 カメラ ¥59,600

ケース ¥ 3,000

ボデー単体 ¥35,000

## お買上げありがとうございます。

露出マークをEEに合わせるだけで、露出は完べき、あなたは、露出計算のわずらわしさから開放され、作画の世界に没頭できる——それが、ペトリFA-1です。

EE機構の理想といわれるTTL-AEシステム——レンズを通過してきた光を測光、瞬時に適正露出を計算、絞りをセットする最新の露出機構——を加えて、被写体の極限を捉える開放測光の明るいファインダー、速写性を増すバランス設計、微妙な色をあまさず再現する純色のレンズ——ペトリFA-1は限りない可能性を秘め、クリエイティブな世界へ挑戦するハイメカニズムカメラ——あなたのどんな厳しい要求にもお応えできる万能一眼レフです。

あなたの写真生活を一層豊かで、高等なものにする愛機として、いつまでもご活用くださいますよう、心からお願い申し上げます。

# EE撮影の魅力

## 性能

型 式	TTL 露出計連動、フォーカルブレン 式35ミリ一眼レフ EE カメラ	露 出 計	速度優先TTL-AE方式cdS使用、自動 露出計内蔵、水銀電池H-GI個使用、 開放平均測光式、ファインダー内絞 り値表示、定点式露出計として使用 可能(指示あり)連動範囲ASA100の ときEV2.5-18、感度目盛ASA 25- 1600
画 面 サ イ ズ	24×36ミリ、35ミリフルサイズ	フ ィ ル ム 装 着	シンプルロード・システム
使用フィルム	バトローネ入り35ミリフィルム	フ ィ ル ム 巻 上 げ	レバー式1作動巻上げ、予備角20°巻 上げ角180°セルフコッキング、二重 巻上げ・二重露出防止
標準レンズ	ベトリ55ミリF1.7、及びF1.4。コン ビネーションコーティング、F1.7◆4 群6枚構成、F1.4◆5群7枚構成	フ ィ ル ム 巻 戻 し	クランク式
レンズ交換	バヨネット式ベトリマウント	フ ィ ル ム 巻 数 計	順算式、自動復元
シャッター	布幕フォーカルブレン、B・1- 1/1000秒等間隔倍数系列、1軸不固 転ダイヤル、ボディ前面傾斜押ボタ ン式	セ ル フ タ イ マ ー	レバー式、時間調節4-9秒
シンクロー	FP・X自動切換、コードレス式シン クローターミナルおよびソケット型プラグ	裏 ぶ た 開 閉	蝶番式
ファインダー	固定式ペンタプリズム、倍率0.9、マ イクロプリズム、フレネルレンズ・ コンデンサー併用、EE 絞り表示、 露出計指針あり 露出警告表示あり	フ ィ ル タ ー	ねじ込み式 F1.7 52ミリ F1.4 55ミリ
ミ ラ ー	クイックリターン式ミラー	フ ー ド	かぶせ式 F1.7 54ミリ F1.4 57ミリ
ピント調節	直進ヘリコイド式	寸 法 ・ 重 量	ボディのみ725グラム F1.7付149×94×90ミリ、930グラム F1.4付149×94×104ミリ、1030グラム

## 各部の説明



# 各部の説明



ファインダー・アイピース

裏ぶた開閉ツマミ

フィルム巻戻し  
クラック軸

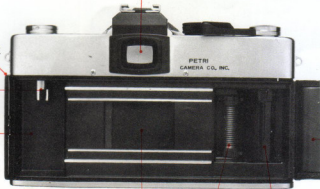
フィルム室

裏ぶた

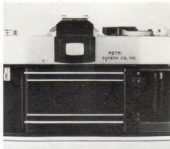
シャッター幕

スプロケット

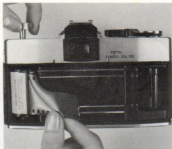
フィルム巻取り軸



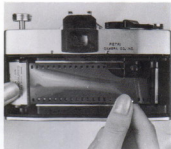
## 撮影をはじめる前に



**1** 新型式のシンプルロード・システムは、巻取り軸に刻まれた4か所の溝のどれかにフィルムの先端をさし込むだけの簡単さでフィルム装てんの失敗を防ぎます。では、まず裏ふたを開きましょう。

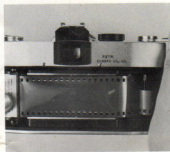


**2** 巻戻しクランクを引きだし、新しいフィルムの入ったパトローネをフィルム室に入れ、クランクを元の位置に戻しながら、クランク軸の突端と、パトローネをかみ合わせます。

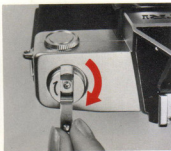


**3** 左手で軽くパトローネを押えながら、フィルムの先端を少し引き出し、巻取り軸のどれかにさしこみます。このとき溝のいちばん狭い部分の根元まで引き込むようにします。





**4** 巻上げレバーでフィルムを巻上げ、フィルムの両側にあるパーフォレーションが、スプロケットの歯車としっかりかみ合うようになります。レバーが動かなくなったら、シャッターボタンを空押しして下さい。

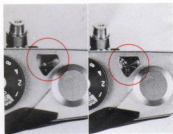
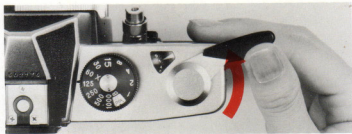


**5** 裏ふたを閉じたら、巻戻しクランクを起し、クランクが重く感じるまで矢印の方へ軽く回して、フィルムのたるみをとります。次にフィルムを巻上げるとクランクは矢印と反対に回ります。この時クランクが回らない場合はフィルムがはずれていますからフィルム装填をもう一度やり直して下さい。



**6** フィilm装てんの光にあたった部分は露光しているわけですから、この分を巻取るため、巻上げレバーを巻上げ、シャッターを切る空写し操作を2回繰り返してください。すると露光されていないフィルム面が装填され撮影開始となります。

## フィルムの巻上げ



フィルム巻上げレバーは、1回巻上げると①フィルムが1コマ分送られ、②シャッターがセットされ、③ミラーが作動開始状態になり、④E E機構のスイッチが入って測光を開始し、⑤二重巻上げや二重露出を防止するなど、さまざまな働きをします。

巻上げレバーは少し引き出して親指をかけ、止まるまで回せばよいのですが、指を離せば元に戻ります。この時次の巻上げをしやすくするためボディとの間にスキ間ができますが、指で押せば元の位置に戻るように少しの余裕をつけてあります。

フィルム枚数計…S (スタート)  
1、4、6、8、10…以下36まで  
偶数の数字が刻まれ、巻上げレバーを巻上げると1コマずつ進みます。20、36の赤字はそれぞれの終了を示し、裏ふたを開けると自動的にS(スタート)に戻ります。



美しい写真を撮るには、カメラをしっかり構え、ブレないようにしなければなりません。ピントの悪い写真の大半がカメラブレです。

まず、両足を軽く開いて安定した姿勢が良く、シャッターボタンを押すときは一瞬、息を止めるようにし人差し指の腹で静かに押します。



横位置でもタテ位置でも、カメラの背面をヒタイや顔の一部に当てるようにすれば、カメラぶれが防げますが、横位置の場合は、両ヒジを身体にしっかりつけ、タテ位置の場合は、右ヒジを身体につけ、左手でカメラが動かないように保持します。

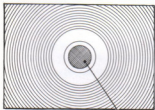


また、1/15秒以下のスローシャッターを切る場合は、三脚を使うか、カメラを何かの台に置き、カメラが動かないようにします。カメラをお求めになったら、すぐフィルムを入れず、何度も練習することです。



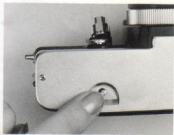
本機は一眼レフ形式ですから、ファインダー全面に映じた被写体そのまま写ります。従って構図を決めるのもラクですが、写真の良い悪いは構図次第で決まる場合が多いので、慎重に構図をきめてください。

ファインダーをのぞきながら、フォーカスリングを右または左に回すと、被写体が次第にはっきりしてきます。特に中央のマイクロプリズム部分がシャープな像を結んだところでシャッターを切れば、ピントのいい写真が写せます。



マイクロプリズム

## フィルムの巻戻し



撮影が終わったかどうかは、フィルム枚数計が20（20枚撮りフィルム）または36（36枚撮り）を指すか、巻上げレバーが動かなくなるのでわかります。

まず、カメラ底面の巻戻しボタンを押し、フィルム巻戻しクラン

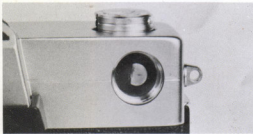
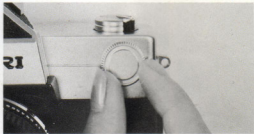
クを起し、矢印の方へ回わして、巻戻しをはじめます。巻戻しボタンは一度押せばロックされますから、ボタンの指を離しても差支えありません。

フィルムの先端が巻取り軸から外れると、急に軽くなりますから

巻戻しの終わったことがわかります。巻き戻しが終わったら、裏ぶたをあげ、パトローネを取り出します。

フィルムの出し入れは、必ず直射日光を避けて下さい。戸外では自分の蔭の中などで行います。

## 水銀電池を入れる



### 水銀電池の寿命について…

水銀電池は、+の表示のある方を外側にして入れ、キャップを元のようにしっかりねじ込んでください。水銀電池は、TTL露出計を作動させる電源となるものですが、フィルム巻上げレバーを巻上げるとスイッチが入るようになっております。従って、測光時以外は電流が流れませんので、無駄な損耗がありませんが、巻上げレバーを巻き上げてから撮影を中止すると、スイッチが入ったままになりますから、フィルム巻上げは、必ず撮影直前にするよう心懸けてください。

水銀電池の寿命は通常1年ですが、寿命が切れると露出計が働かなくなるので、撮影に遠出するような場合は、早めに交換しておいた方が安全です。もし、撮影途中で寿命が切れた場合は、AM切換リングをM(マニュアル)にすれば、露出計なしの普通のカメラのように使うことができます。

水銀電池はカメラ店で入手できますが、1.3ボルト、ナショナルH-C1個をご使用下さい。或は、東芝HS-C、又は同等のものをご使用下さい。



フィルム感度のセット… シャッターダイヤルの周囲のリングを軽く持ち上げて回すと、シャッターダイヤル上のASA窓に見える数字が回りますから、フィルムに表示してあるASA感度と合わせてください。例えば、SSフィルムは100ですから、黑白フィルムもカラーフィルムも、常用フィルムをASA 100と決めておけば、一度セットすればよいわけです。

オートセット…絞りリング右端の赤い英字EEを、焦点深度目盛の中央の◆印に合わせます。こうすると、◆印、EE、A(オート)の3者がならぶわけ



す。これでEE撮影はO・Kとなり、あなたは露出に一切神経を使わないでよいのです。しかも、レンズを通して、フィルムに達する光量を測光するTTL方式ですから、1本のフィルムには、露出のクレイに揃ったネガがならぶことになります。EE撮影を続ける限り一度セットしておけばよいのですが、特殊効果を狙う時は、EEを解除してマニュアル(M)撮影もできます。

## スピード優先です



本機のE E機構は、シャッタースピード優先になっています。従って、絞りリングは必ず**E E**マークに合わせておき、シャッターダイヤルを回しながらファインダー内部右側にある絞り数値のどれにでも露出計の指針を合せま

すと、自動的に適正な露出が得られます。

シャッターダイヤル上の数字は、シャッター速度を示します。2は1/2秒、500は1/500秒で、Bはバルブ露出のことでシャッターボタンを押しているあいだ中、シャッターが開き、放すと閉じます。(但しBはE E撮影の際は使用できない)

シャッター速度は、ダイヤルを右か左に回し、希望の速度をダイヤルの左側の黒線に合わせます。このシャッター目盛はクリックストップになっており、中間の速度は使えません。また、シャッター速度のセットは、フィルム巻上げの前でも後でもかまいません。



外部の絞り目盛りは関係ありません…  
上述のように、シャッタースピード優先のE Eですから、そのときの絞り値はファインダー内部で表示されますから、カメラ外部の絞りリングの絞り目盛はE E撮影の場合全く関係ありません。



## これでE E撮影O.K

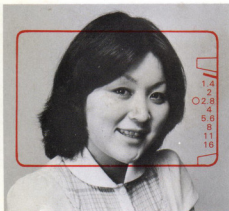
いよいよ撮影です…フィルム巻上げレバーを巻上げると、水銀電池のスイッチが入り、ファインダー内の露出計指針が上下して、絞り値を表示します。

このとき、露出計指針が、上部または下部の赤いゾーンにある場合は、それぞれ露出不足、又は露出オーバーですからシャッター速度を変更してください。

それでも針が赤いゾーンから出ない場合は、上部は光量不足ですので、ストロボやフラッシュを、下部は光量過剰ですので、X 2かX 4のNDフィルターをお使いください。

本機はフィルターをかけた場合も、そのフィルターを通して入って来た光を測光するので、露出調整の必要はありません。例えばF 8の絞りで撮影したいときは、露出計指針がF 8で止まるようシャッターダイヤルを回します。

またストロボやフラッシュを使用する際は、E Eを解除して、マニュアル(M)で撮影します。さあ、これですべての準備は終わりました。いよいよ撮影です。



開放測光の利点…E E撮影の場合シャッターを切る時間だけ絞られますから、絞り値がどこを指していても、絞り開放の状態の明るいファインダーが見られます。



本機のE E専用交換レンズ以外のベトリオートレンズを使用の場合は、AM切換えレバーをM(マニュアル)にし、ファインダー内の絞り目盛2.8左上の青色の●印に露出計指針を合わせます。この場合露出計は、絞り、シャッター速度の両方に連動しますから、①シャッター速度を先に決め絞りリングで調節する。②絞りを先に決め、シャッターダイヤルで調節する。のどちらの方法でも、露出は決められます。この場合、ファインダー内の絞り数字は、実際の絞りとは全く関係ないものになります。●印に針が合えば適正露出です。

また、この時レンズが絞り込まれておりますからファインダー内が暗くなりピントが合わせにくくなりますので適正露出がきまれば、AM切換えレバーをA(オート)に切換えますとファインダーが明るくピント合わせがらくになり、そのままシャッターをきると所定の露出が自動的にきまります。

## 特殊撮影 被写界深度を利用しよう

レンズは、ある1点にピントを合わせると、その前後何メートルかピントの合う範囲があります。これが被写界深度ですが、この深度は、被写体を中心として前に浅く、後に深くなり、(また大絞りではこの深度の幅がせまく、小絞りになるほど広がります。)

例えば、距離5メートルに合わせると、絞り $f1.7$ では約4.5メートルから、約5.5メートルまで被写界深度の範囲に入ることがわかりましょう。

同様に、5メートルに合わせ、 $f16$ まで絞ると、約2.5メートルから、約55.2メートルまで被写界深度の範囲に入ります。

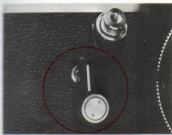
これは、いちいちピントを合わせる暇のないスナップ撮影や、奥行のある建造物、集合人物などを撮影するとき非常に役立ちます。

例えば、グループ撮影の場合、何列目の人にピントを合わせれば、前の人も、後の人もしっかり写るか、などの場合ですが、これはある程度までE Eでも利用することができます。



## (ピントの深さ)

距離(m) 絞り	1.4	1.7	2.8	4	5.6	8	11	16
∞	63.63(m) ∞	51.17(m) ∞	31.07(m) ∞	21.75(m) ∞	15.53(m) ∞	10.87(m) ∞	7.91(m) ∞	5.44(m) ∞
10	8.62 11.85	8.37 12.41	7.58 14.71	6.86 18.43	6.10 27.79	5.22 117.08	4.43 ∞	3.53 ∞
5	4.64 5.42	4.56 5.53	4.31 5.95	4.07 6.47	3.79 7.33	3.44 9.17	3.08 13.34	2.62 55.22
3	2.87 3.15	2.84 3.18	2.74 3.31	2.64 3.47	2.52 3.70	2.36 4.11	2.19 4.78	1.95 6.54
2	1.94 2.06	1.93 2.08	1.88 2.13	1.84 2.20	1.78 2.29	1.70 2.44	1.61 2.65	1.47 3.11
1.5	1.47 1.53	1.46 1.54	1.43 1.57	1.41 1.61	1.37 1.65	1.32 1.73	1.27 1.84	1.19 2.04
1.2	1.81 1.22	1.17 1.23	1.16 1.25	1.14 1.27	1.12 1.30	1.09 1.34	1.05 1.40	0.99 1.52
1.0	0.99 1.02	0.98 1.02	0.97 1.03	0.96 1.05	0.94 1.06	0.92 1.10	0.89 1.14	0.85 1.21
0.8	0.79 0.81	0.79 0.81	0.78 0.82	0.77 0.83	0.76 0.84	0.75 0.86	0.73 0.88	0.70 0.93
0.7	0.69 0.71	0.69 0.71	0.69 0.71	0.68 0.72	0.67 0.73	0.66 0.74	0.65 0.76	0.63 0.79
0.6	0.59 0.61	0.59 0.61	0.59 0.61	0.59 0.62	0.58 0.62	0.57 0.63	0.56 0.64	0.55 0.67



### セルフタイマーの利用

新婚旅行に、もしセルフタイマーがなければ、新郎か新婦か、どちらか一人ずつの写真となって、味気ないものになります。セルフタイマーがあれば、楽しく二人ならんだ写真も撮れるわけです。

そればかりではありません。例えば、群衆の頭ごしに撮影したいとき、三脚にカメラをセットし、その三脚を高くさしあげて、あるいは両手で高くカメラをさしあげて写すときなどにもセルフタイマーは利用できます。

その点、本機のセルフタイマーは4秒から9秒まで、自由に時間が調節できるので便利です。

本機のセルフタイマーレバーを下方に一杯に下げてから、シャッターボタンを押すと、約9秒後にシャッターが切れます。このセルフタイマーは中間位置でも使用でき、90度にセットすれば、約4秒で作動しますから、大いに利用してください。



### 赤外線フィルムの場合撮影

赤外線フィルムの性質上、ピン트가少々ずれますが、それを修正するのが赤外線指標、被写界深度目盛の左側の1.7或は4の線が赤くなっているその位置までずらして下さい。



アクセサリシューにストロボ或はフラッシュガンを取付けますが、アクセサリシューの中央に接点が設けてあるので、コードレスタイプの発光器ならば、アクセサリシューに発光器を取付けるだけでフラッシュ撮影が行えます。

コード付きのストロボやガンは、コードを、上部カバー横のシンクローミナルにつなぎます。閃光電球とシャッタースピードの関係は次のとおりです。

P 級 1/2秒~1/500秒

F 級 1/2秒~1/30秒

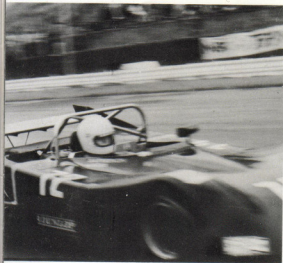
M 級 1/2秒~1/15秒

ストロボの場合は、シャッターダイヤル上の表字Xをダイヤル横の黒線と合わせます。

フラッシュ撮影はE Eを解除して、マニュアルで行いますので、絞り数値は、それぞれの閃光電球やストロボに明記してあるガイドナンバーによって決定してください。



## レンズ交換の面白さ レンズ交換は一眼レフのだいご味



被写体に応じてレンズを交換して使う。これは写真のTPOともいえましょう。プロになるほどたくさん交換レンズを使い分けています。また一眼レフだからこそ、そのレンズの効果を確めながら撮影できるという利点があります。みなさまも、この一眼レフのみに許されただいご味を、交換レンズによって十分に味わっていただきたいものです。

本機には専用の交換レンズとして、EEオートの各種レンズがあり、本機独特のEE機構に完全に連動します。

また、その他のベトリ交換レンズをご使用の際は、露出機構がそのまま定点露出計として活用できるという便利さを持っておりますので、まず必要なものから順次お揃えください。



## レンズ交換の仕方

本機のレンズ交換はバヨネット式になっているので、簡単、確実に行うことができます。

レンズ着脱リングを正面より見て左に回わし、**赤い指標**がレンズの真上にくるようにすると、レンズ部がスッポリはずれます。

交換レンズを取付けるには、レンズ部の上部についている**赤印**の切り込みを真上にし、ボディ側の**赤い指標**に合わせて差し込み、リングを右に回わして固定します。

ベトリ交換レンズの種類については、次ページ以下をご参照下さい。



EE機構をフルに使うには……  
ベトリEEオートレンズ28ミリF3.5、35ミリF2.8、135ミリF3.8、200ミリF4、85~210ミリズームの各種レンズは露出の心配の全く不要なEE機構がそのまま使える

という便利さを備えています。この5種のレンズは、いずれも最も多く使われている焦点距離のものばかりですから、まずこのへんから揃えるべきでしょう。

## 専用交換レンズ群

広角レンズ21mm~35mm

21mm



F4オート 6群9枚構成  
完全自動絞り 画角91°42'  
最小絞りF16 重量370g

28mm



F3.5オート 7群7枚構成  
完全自動絞り 画角75°23'  
最小絞りF16 重量230g

35mm



F2.8オート 5群6枚構成  
完全自動絞り 画角63°26'  
最小絞り22 重量230g

標準レンズ

55mm



F1.4オート 5群7枚構成  
完全自動絞り 画角43°0'  
最少絞りF16 重量350g

F3.5EEオート 7群7枚構成  
EE機構に連動する完全自動  
絞り 画角75°23' 重量230g

F2.8EEオート 5群6枚構成  
EE機構に連動する完全自動  
絞り 画角63°26' 重量170g

F1.4EEオート 5群7枚構成  
EE機構に連動する完全自動  
絞り 画角43°0' 重量350g

F1.7オート 4群6枚構成  
完全自動絞り 画角43°0'  
最少絞りF16 重量210g

F1.7EEオート 4群6枚構成  
EE機構に連動する完全自動  
絞り 画角43°0' 重量210g

# 望遠レンズ135mm~400mm

## 135mm



F2.8オート 4群4枚構成  
完全自動絞り 画角18°0'  
最小絞り22 重量450g

F3.8EEオート3群3枚構成  
EE機構に連動する完全自動絞り  
画角18°12' 最小絞り16 重量360g



## 200mm



F4EEオート4群5枚構成  
EE機構に連動する完全自動絞り  
画角12°21' 最小絞り16  
重量480g

## ズームレンズ

45~135mm

F3.5ズームオート  
10群15枚構成 完全自動絞り  
画角51°21'~18°12'  
最小絞り16 重量930g

## 300mm



F5オート 3群5枚構成  
完全自動絞り 画角8°15'  
最小絞り22 重量850g  
F5.5プリセット 2群3枚構成  
画角8°15' 最小絞り32  
重量700g

85~210mm

F4.5EEズームオート  
8群13枚構成 EE機構に連  
動する 完全自動絞り  
画角28°34'~11°46'  
最小絞り16 重量650g

## 400mm



F6.3プリセット3群4枚構成  
画角6°11' 最小絞り32  
重量700g

80 200mm

F4.5ズームオート  
9群11枚構成 完全自動絞り  
画角30°16'~12°21'  
最小絞り16 重量1,300g

# PETRI 専用交換レンズ



# 専用アクセサリ



**フィルター**  
55・52ミリネジ込み式白黒用フ  
ィルターY1, Y2, YA3,  
PO0, PO1, R1 ¥1,500  
カラー用フィルター W4,  
C4, C8, C12, 1A, 85C, ND×4,  
UV ¥1,800



**レンズフード**  
F2用  
57・54ミリカブセ式  
ケース付  
¥1,500



**接写リング**  
接写・複写用1・2・3号  
マウントリング アダプター  
リング共1セット ¥2,500



**ベロスコープ**  
接写・実物拡大撮影用  
¥7,500



**テレコンバーター**  
一眼レフのカメラとレンズの  
中間に装着すると焦点距離が  
2倍になり望遠レンズに早変  
りします。¥6,700 ケース¥300



**アングルファインダー**  
胸高位置またはローア  
ングル撮影用ケース付  
¥4,000



**アイカップ**  
近視用 } 各¥1,000  
遠視用 }  
正常用 } ¥700



**セットバッグ**  
豪華調整。カメラ、交  
換レンズ、アクセサリ  
ー、フィルム等が収納  
できる。 ¥3,000  
サイズ巾13.3×横22.7×高さ18.5cm

作画範囲を広げる専用アクセサリ  
フィルターによる特殊効果、接  
写リングやベロスコープによる  
接写や、実物より拡大して撮影  
効果等、専用アクセサリの活  
用で、あなたの作画活動範囲が  
ぐんと広がります。

# カメラとレンズの手入れ

- カメラには、ホコリと湿気が大敵です。カメラはシリコンクロスのようなやわらかい布で拭き、カメラの内部は、ブローブラシでホコリをふきとばすか腰の弱いハケでホコリを除去します。
- レンズは、まずブローブラシでチリをはらい、シリコンクロスなどで円形を描くようにしていねいに拭きます。砂などがついたままですと、レンズにキズがつきますから、気をつけて下さい。
- 写さないで長く保管する場合は、ケースから出し、乾燥した風通しのよいところに置きます。なお念のため、シリカゲルのような乾燥剤を一緒におくとよいでしょう。
- しばらく使わない場合は、シャッターやセルフタイ

マーをセットしたままにしないで、必ずシャッターを切っておきます。また長い間フィルムを入れっぱなしにすると、フィルムが貼りついてしまうことがありますから、フィルムを入れたら、必ず写し切ることで、出したらなるべく早く現像に回すように心がけてください。

- シャッターや巻上げレバーなど、カメラを分解したり、注油することはおやめください。具合の悪いときは、保証書を添えてベトリサービスセンターへお持ちください。
- あなたのいうことをよく聞くカメラは、あなたの分身です。ぜひ大切に可愛がってやってください。

あなたの愛機は

Body No.

Lenz No.

# 専用交換レンズ標準価格

レンズの種類	レンズ構成	測光方式 開放測光○ 絞り込測光○	画角	フィルタ ター ねじ径 (mm)	最短撮影 距離 (cm)	大きさ	重量 (g)	絞り方式	レンズ (¥)	ケース (¥)	フード (¥)
						最大径×全長(mm)					
広角21mm/F4.0オート	6群9枚	○	94°42'	77	80	80φ×60	370	完全自動絞り	33,000	1,500	
広角28mm/F3.5オート	7群7枚	○	75°23'	52	60	58φ×61	230	完全自動絞り	20,000	1,000	
広角28mm/F3.5EEオート	7群7枚	◎○	75°23'	52	60	61φ×58	230	完全自動絞りEEに連動	23,000	1,000	
広角35mm/F2.8オート	5群6枚	○	63°26'	52	50	58φ×68	230	完全自動絞り	19,000	1,000	
広角35mm/F2.8EEオート	5群6枚	◎○	63°26'	52	50	61φ×51	170	完全自動絞りEEに連動	22,000	1,000	
標準55mm/F1.4オート	5群7枚	○	43°0'	55	60	63φ×64	350	完全自動絞り	21,600		
標準55mm/F1.4EEオート	5群7枚	◎○	43°0'	55	60	63φ×64	350	完全自動絞りEEに連動	24,600		
標準55mm/F1.7オート	4群6枚	○	43°0'	52	60	61φ×50	210	完全自動絞り	16,400		
標準55mm/F1.7EEオート	4群6枚	◎○	43°0'	52	60	61φ×50	210	完全自動絞りEEに連動	17,400		
望遠135/F2.8オート	4群4枚	○	18°0'	55	180	68φ×90	450	完全自動絞り	20,000	1,800	1,000
望遠135/F3.8EEオート	3群3枚	◎○	18°12'	52	250	60φ×130	360	完全自動絞りEEに連動	15,000	2,000	1,000
望遠200mm/F4.0EEオート	4群5枚	◎○	12°21'	55	300	65φ×161	480	完全自動絞りEEに連動	24,000	2,000	1,000
望遠300mm/F5.0オート	3群5枚	○	8°15'	67	550	76φ×212	850	完全自動絞り	32,000	3,500	1,500
望遠300mm/F5.5プリセット	2群3枚	○	8°15'	62	800	57φ×237	700	ハンドプリセット絞り	24,300	2,300	1,500
望遠400mm/F6.3プリセット	3群4枚	○	6°11'	72	800	75φ×230	700	ハンドプリセット絞り	29,600	2,600	1,800
Z-A45-135mm/F3.5オート	10群15枚	○	51°21' -18°12'	72	190	75φ×161	930	完全自動絞り	43,000	2,000	
Z-A25-210mm/F4.5EEオート	8群13枚	◎○	28°34' -11°45'	58	250	62φ×187	650	完全自動絞りEEに連動	40,200	1,800	
Z-A40-200mm/F4.5オート	9群11枚	○	30°16' -12°21'	67	250	75φ×234	1,300	完全自動絞り	57,000	3,800	1,200

(標準価格は昭和50年8月現在)



ペトリカメラ株式会社

本社・工場	東京都足立区梅田7-25-12	Tel. 887-1111	〒123
東京営業所	東京都千代田区九段南2-4-16	Tel. 261-9981	〒102
大阪営業所	大阪市西区堀江上通1-50	Tel. 541-5096	〒550
名古屋営業所	名古屋市中区栄3-11-9	Tel. 251-5691	〒460
福岡営業所	福岡市博多区上川端町14-13	Tel. 29-0653	〒812
仙台営業所	仙台市東7番丁44-1	Tel. 93-0221	〒980
札幌営業所	札幌市中央区北4条東2-8-6	Tel. 221-2008	〒060
沖縄センター	那覇市松山1-1-11	Tel. 68-6109	〒900